

行政視察報告

市議会では、まちづくりの参考、政策立案の実現に向け、先進地事例を学ぶため視察研修を行っています。市政の重要課題について分析や理解を深め、執行機関の監視機能の強化を図るために研修した内容を報告します。

●視察日／令和7年10月15日、16日

●参加議員／水木悟志・葛西厚平・小野 誠・北山弘光・葛西勇人・山谷洋朗
中畠一二美・石田昭弘・石田隆芳・工藤秀一・福士 稔・佐藤 保
桑田公憲・齋藤 剛・齋藤律子

行政視察報告書



詳細ははこちら

岩手県釜石市

防災・危機管理について

釜石市では、震災復興の経験を生かした防災の取組事例を研修しました。

一般市民向けの防災出前講座は、令和6年度はおよそ3,000人が受講した実績があるなど、「自分の命は自分が守る」という意識の醸成を図っています。

7月30日のカムチャツカ地震では、釜石市の中学生が避難所を運営しており、防災教育の成果が見えたものであります。

また、研修中、釜石市の要支援者の避難計画の状況や防災無線の個別受信機の予算状況など、様々な質問がありました。



防災市民憲章碑にて



研修中の様子

岩手県北上市

北上市近未来政策研究所について

北上市の調査研究機関として立ち上げられた北上市近未来政策研究所は、既存組織の枠を越えた、「北上ならでは」の政策づくりを目標として取り組んでいる自治体シンクタンクとしての先進事例です。

職員の政策形成力の向上支援、大学との連携などを行っており、調査研究、政策立案支援、情報発信を推進しています。

似た部局として平川市では、みらい戦略室があります。政策アドバイザーによる助言の重要性や部局横断した政策形成力の向上支援など、参考とする点が数多くありました。



研修中の様子